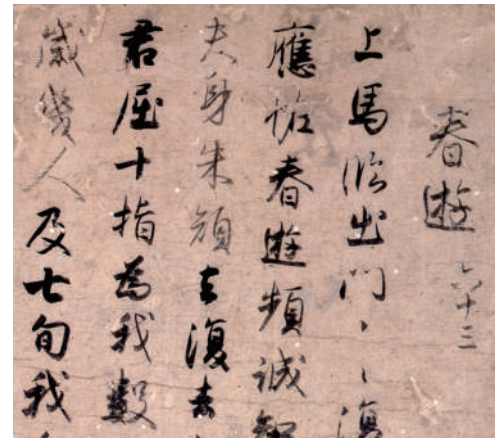


名品展



2025年1月24日(金) - 3月11日(火)
MOA美術館

展覧会概要

MOA 美術館のコレクションは、創立者・岡田茂吉（1882～1955）が蒐集した日本・中国をはじめとする東洋美術を中心に構成されています。その内容は、絵画、書跡、彫刻、工芸等、多岐にわたり、各時代の美術文化を語る上で欠くことの出来ない作品を含んでいます。

本展では、江戸中期の絵師・尾形光琳の最高傑作と評される「紅白梅図屏風」をはじめ、京焼の大成者・野々村仁清作「色絵藤花文茶壺」、三大手鑑の一つとされる書の名筆を集めた手鑑「翰墨城」の国宝3件を同時公開します。また中国唐時代の希少な紙本絵画・重文「樹下美人図」、江戸時代の生命力あふれる女性を描いた「湯女図」等、コレクションの各ジャンルを代表する名品を精選して展観します。梅花咲き誇るこの季節、隣接する瑞雲郷梅園とともにぜひご鑑賞ください。

みどころ

・所蔵の国宝3点を同時公開

・重要文化財20点余を含む中国・日本絵画、書跡、仏教美術、風俗画、漆工品等、各ジャンルを代表する優品を展示



国宝 紅白梅図屏風 尾形光琳 江戸時代

展覧会名: **名品展**

会期: 2025年1月24日(金) - 3月11日(火)

会場: MOA美術館

〒413-8511 熱海市桃山町26-2 TEL: 0557-84-2511 URL: <https://www.moaart.or.jp>

開館時間: 午前9時30分 - 午後4時30分(入館は午後4時迄)

休館日: 木曜日

観覧料: 一般1,760(1,430)円 / 高大生1,100(770)円・要学生証 / 中学生以下無料 / 65才以上1,540円・要身分証明

※()内は10名以上の団体料金 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添い者(1名のみ)半額

※前売り券は、お近くのコンビニエンスストア(セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート)でもお求めいただけます。

交通: JR東海道新幹線・東海道線 熱海駅下車、駅前バスターミナル⑧番乗り場よりMOA美術館行 約7分終点下車



主な展示作品



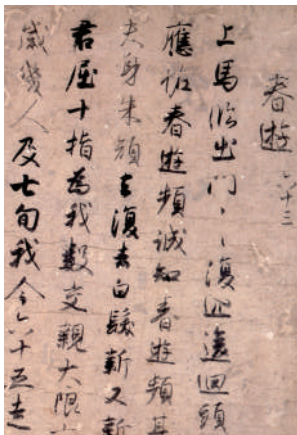
国宝 紅白梅図屏風 尾形光琳 江戸時代(18世紀)

白梅は樹幹の大部分を画面外にかくし、紅梅は画面いっぱいに描いて左右に対照の妙をみせ、中央に末広がりの水流を描いている。「光琳梅」とも呼ばれる花卉を線描きしない梅花や、樹幹にみられる「たらし込み」、文様化した水流など、様々な要素が結集している。向かって右隻に「青々光琳」、左隻に「法橋光琳」と落款があり、それぞれ「方祝」の朱文円印が捺されている。光琳晩年の作と思われ、津軽家に伝来した。みられるたらし込み、更に他に類を見ない筆さばきをみせる水の文様など、こうした優れた要素が結集しています。



国宝 色絵藤花文茶壺 野々村仁清 江戸時代(17世紀)

均等に薄く挽き上げられた端正な形姿を見せ、仁清の色絵茶壺の中でも最高傑作と言われている。上方で螺旋状に絡まった赤い蔓から放射状に藤の花が垂れ下がるため、どこから見ても構図に破綻が無い。花穂は、金の縁取りの赤、赤い縁取りの銀、赤い縁取りの紫の3種で表現され、緑の葉には一枚一枚葉脈を施している。胴裾から底にかけては土見せで、平らな底の裏に小判枠の大印が捺されている。



国宝 翰墨城より 白氏文集切・春遊 藤原行成 平安時代

手鑑とは筆跡の模範、手本のことで、古人の書いたすぐれた筆跡である古筆を貼ったものを古筆手鑑という。「翰墨城」の名は、翰（筆）と墨によって築かれた城という意味で、藤原行成筆「白氏文集切」など貴重な古筆切を表裏あわせて311葉を収めている。



重要文化財 樹下美人図 中国・唐時代（8世紀）

西本願寺法主大谷光瑞（おおたにこうずい）師派遣の中央アジア探検隊によって請来されたものである。トゥルファン付近のカラホージョ古墳から出土したと伝えられ、現在、東京国立博物館所蔵の「樹下男子図」と対をなすとされる。女性の衣装、髪型やかんざしの挿し方、化粧法などは8世紀盛唐期の風俗を反映している。唐代の紙本絵画の遺品が現存するのは極めて貴重である。



重要文化財 山水人物蒔絵手箱 鎌倉時代(14世紀)

鎌倉時代には、絵画的表現に写実性と立体感を高めるための蒔絵技法が極めて発達した。この手箱では筏（いかだ）流し、鶺鴒（うかい）舟や蛇籠、山水の景色などを、多様な蒔絵技法を駆使して表し、人々の営みを生き生きと表現している。



重要文化財 湯女図 江戸時代（17世紀）

近世に入り、当世風俗が主要な画題の一つになると、主流は町絵師の手に移り、描写形式も、群衆描写から少人数の群像へと変化していった。本図は、寛永年間に流行した湯屋で、客の垢をながしたり酒食の相手をした湯女を描いている。戸外を闊歩する遊女たちの描写は、その後の寛文期美人画に見られる優艶な理想化とは違い、生命力にあふれている。団家旧蔵。

※展示作品は変更することがあります。

広報画像をご希望の方は、必要事項をご記入のうえメールまたはFAXにてお申し込みください。

Email: moaart-info@moaart.or.jp

FAX: 0557-84-2570 MOA美術館 広報宛て

広報画像申込書

MOA美術館 広報画像を希望します。

貴社名

ご所属

お名前

ご住所

TEL

FAX

E-mail

媒体名

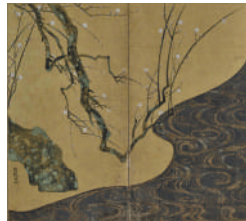
掲載予定日/放送予定日

年 月 日 発売/放送予定

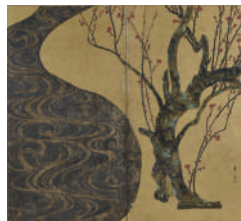
掲載概要、予定文字・ページ数など
(お分かりになる範囲でお願いいたします。)

貸出し希望画像番号

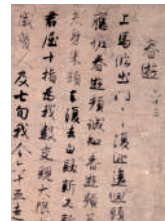
広報画像



1



2



3



4



5



6

- [1] 国宝 紅白梅図屏風 尾形光琳 江戸時代(18世紀)
- [2] 国宝 色絵藤花文茶壺 野々村仁清 江戸時代(17世紀)
- [3] 国宝 翰墨城より 白氏文集切・春遊 藤原行成 平安時代

- [4] 重要文化財 樹下美人図 中国・唐時代(8世紀)
- [5] 重要文化財 山水人物蒔絵手箱 鎌倉時代(14世紀)
- [6] 重要文化財 湯女図 江戸時代(17世紀)

〈広報画像取扱いに関する規定〉

◎広報画像はすべてMOA美術館を紹介する場合に限ります。事前の申請・承諾なく二次利用しない事。

◎広報画像を紹介する場合には、指定されたクレジットを併記する事。

◎トリミング、変形、部分使用、文字のせは無断で行い事。

◎〈広報画像取扱いに関する規定〉に承諾のうえ、画像申込みを行う事。

〈個人情報の取扱いについて〉

ご記入いただきました個人情報は、広報からの情報発信やご案内など必要なご連絡にのみ使用いたします。許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。

MOA美術館

広報担当:内田/上榎

TEL 0557-84-2567

Email

moaart-info@moaart.or.jp